**業績目録記載要領**

業績目録は、「１.管理・運営等に関する業績」「２．診療支援業務に関する業績」「３.教育・研究等に関する業績」とします。

「１.管理・運営等に関する業績」

　　　・病院や大学の管理・運営等に関して従事した業務内容・実績等について記載して下さい。

・委員会等に所属していた場合は、その委員会等の名称がわかるように記載して下さい。

　　「２.診療支援業務に関する業績」

　　　・従事した職種、従事期間および年数について記載して下さい。

・従事期間が古いものから記載して下さい。

「３.教育・研究等に関する業績」

・「３.教育・研究等に関する業績」は、「Ｉ．教育業績」「Ⅱ．研究業績」「Ⅲ．その他業績」に分けてください。

・「Ｉ．教育業績」については、技術職員への研修会、大学内外での技術職員への教育プログラム、非常勤講師など、形式自由で記載してください。

・「Ⅱ．研究業績」については、「a. 学会発表」、「b. 著書」、「c. 綜説」、「d. 原著」、「e. 症例報告」、「f. その他」それぞれの区分に応じて和文と欧文に分け、発表年代順に一連番号を付して記載して下さい。なお以下の点にご留意ください。

・学会発表は、特別講演、宿題報告、教育講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション、ワ－クショ

ップ、一般発表等に区分して、年代順の番号を記載して下さい。

・上記については、発表者名（全員、本人に下線を引く）、メインテ－マ(シリ－ズものでは何回目か)、演題名、学会名、開催地、開催年等の記入を忘れないようにして下さい。

・国際学会・シンポジウム等のproceedingやabstractは、当該学会発表のところに記載して下さい。

・proceeding等を「b. 著書」、「c. 綜説」等に入れるときは資料を添付して下さい。

・in pressの論文（受理証明書 (写)を付けること）を含めることとしますが、投稿中及び準備中の業績は本目録から除くものとします。

・著者が複数のときは、本人に下線を引いて下さい。（コレスポンディングオーサーになっている場合は、＊で標記して下さい。）

・治験に関する報告論文は、「f. その他」の項に記載して下さい。

・科学研究費等の報告書は本目録から除外して下さい。

・業績の記載の様式は記載例にならって下さい。

・発表雑誌名はできるだけＩＳＩ Journal Citation Reportsに従って省略名を用いて下さい。

・「Ⅲ．その他業績」については、その他の診療支援業績や客観的評価の資料、一般市民への公開講座、社会的なアウトリーチ活動など、形式自由で記載してください。

（別紙様式２）（記載例）

業　　績　　目　　録

氏　名　山田　一郎

１．管理・運営等に関する業績

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 | 業務内容・実績等 |
| 1)  2)  3)  4)  5)  6）  7)  8)  9)  10) | 例）  院内\*\*\*委員会委員業務（平成\*\*年\*\*月～）  　　①各種法令要件のための業務担当  　　②記録の整理および会議等の運営  　　③測定記録，整備記録の業務等  　　④…  感染対策及び医療安全に係る統括業務（平成\*\*年\*\*月）   1. 感染情報の部員へ周知・助言 2. 針刺し・粘膜汚染時の対応およびマニュアル作成   物品調達に係る業務   1. …仕様策定委員、仕様策定作業（平成\*\*年\*\*月）   \*\*\*情報システムの構築作業，保守業務   1. …   業務配置，人事・労務に関する業務  治験に関する分担業務  個人情報保護に関する情報管理業務  災害医療に関する分担業務  大学\*\*\*委員会委員業務（平成\*\*年\*\*月～）  その他 |

（注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。

２．診療支援業務に関する業績

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 | 従事した職種、従事期間および年数等 |
| 1)  2)  3)  4） | 例）  診療放射線技師（＊＊＊検査）  昭和＊＊年＊＊月～昭和＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）  診療放射線技師（＊＊＊検査）  昭和＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）  主任診療放射線技師（＊＊＊検査）  平成＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月）  副診療放射線技師長（＊＊＊検査）  平成＊＊年＊＊月～平成＊＊年＊＊月　（＊＊年＊＊月） |

（注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。

３．教育・研究等に関する業績

|  |
| --- |
| Ⅰ．教育業績  技術職員への研修会、大学内外での技術職員への教育プログラム、非常勤講師など、形式自由で記載してください。  Ⅱ．研究業績  a. 学会発表……発表者名，メインテ－マ，演題名，学会名，開催地，開催年  （国際学会、国外学会）  １．Yamada,I Saito,H……:Health Promotion in 21century, 15th International Conference on Occupational Health, Stockholm, 1996  　（国内学会）  　　 １．山田一郎、太田五郎：アンドロゲン受容体転写制御，第148回日本泌尿器科学会，東京，2012  b. 著書 （１）単著……著者名：書名，総頁数（発行所，発行場所）発行年  （２）共著……著者名：分担章題名，頁（編者名：書名，発行所，発行場所）発行年  （和文）  （１）単著  １．山田一郎：人工弁の歴史，158頁（医学書院，東京) 1972  （２）共著  １．太田五郎、山田一郎：胸部外科における抗生物質の使用，210－238（ 和田次郎編：新しい胸部外科の臨床，医歯薬出版，東京) 1978  （欧文）  （１）単著  １．Yamada,I: The structure of the pancreas,250pp(Igakushoin,Tokyo)1987  （２）共著  １．Yamada,I and Ota,G: Developmental aspects of the pancreas. pp99-113(Motta, P M, Ultrastructures of the extraparietal glands of the digestive tract. Kluwer Academic Press, New York) 1987  c. 綜説……著者名：論文題名，雑誌名，巻，最初頁－最後頁，発行年  （和文）  １．山田一郎、太田五郎、和田次郎：人工弁とその移植術，日医新報2357，33-40，1968  （欧文）  １．Yamada,I and Ohta,G :Modified splenorenal shunt with splenopancreatic disconnection. Surgery,106, 920-924, 1986  d. 原著……著者名：論文題名，雑誌名，巻，最初頁－最後頁，発行年  （和文）  １．山田一郎：模型人工肺に関する研究，北海道医誌42，140-154，1977  （欧文）  １．Yamada,I and Ohta,G : Thrombosis of prosthetic valve. J Cardiovasc Surg 14, 85-92, 1972  e. 症例報告  f. そ の 他  Ⅲ．その他業績  その他の診療支援業績や客観的評価の資料、一般市民への公開講座、社会的なアウトリーチ活動など、形式自由で記載してください。 |

（注）書ききれない場合は，同様式により記入のこと。